



こころの
健康センター
所報

平成24年度
(実績)

新潟市こころの健康センター

はじめに

新潟市こころの健康センターの平成24年度の所報をお届けいたします。関係者の皆様におかれましては、当センターにおける事業の概要をご覧いただき、忌憚のないご意見をお寄せくださるようお願い申し上げます。

毎年この巻頭言では、精神保健福祉の動向や、それに関連した当センターの事業を取り上げてきました。今回は、本年4月の改正精神保健福祉法施行を控えて、精神保健福祉センターにおける法定業務を取り上げたいと思います。

精神保健福祉センターにおいて「法定業務」と呼ばれるものは二つあります。一つは、精神医療審査会の審査に関する事務であり、もう一つは、自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定業務です。ふだんはあまり目立ちませんが、精神科医療と精神障がい者福祉の根幹にかかわる、とても重要な業務です。誤りや遅延が許されないのは他の業務も同様ですが、これら法定業務の結果は、直接、入院医療や福祉サービスに反映されるだけに、常にも増して緊張感を持って臨まねばならない仕事であると考えています。

精神医療審査会では、精神科医や法律家等の委員が、精神科病院における非自発的入院に関する審査を行っています。自らの意思によらず入院する人たちの人権を守るという非常に貴重な役割があります。当センターは、審査会の事務局として、審査書類の準備や、審査委員が行う当事者や関係者からの意見聴取の調整等を行っています。精神科医療の多様化や社会の複雑化を反映して、審査会に持ち込まれる案件も年々複雑になっており、審査も困難になる傾向にあります。

判定業務では、精神障害者保健福祉手帳の等級判定と自立支援医療支給の可否を判定しています。判定は、複数の精神科医による合議により行われます。近年、手帳も自立支援医療も判定件数が急激に増加しています。また、対象となる精神疾患も、従来の統合失調症や気分障害だけでなく、広汎性発達障害やいわゆる「高次脳機能障害」など、多様化が進んでいます。これらの制度が普及するのはよいことなのですが、判定医や事務局のマンパワーは限られているため、正確かつ迅速に判定を行うことが年々困難になってきています。

これら審査判定にまつわる様々な課題は、制度そのものの在り方に根差した部分が大きいので、当センターだけで対応することは困難ですが、まずは、事務作業の効率化と職員の技術向上に努めてまいります。さらに、全国精神保健福祉センター長会や全国精神医療審査会連絡協議会などの関係団体とも幅広く連携しながら、根本的解決への道を探っていきます。

つきましては、今後も、関係者の皆様の相変わらぬ御理解と御教示、そして御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年1月15日

新潟市こころの健康センター
所長 福島昇

目 次

1	施設概要	1
2	職員体制.....	4
3	24年度歳入歳出決算状況	5
4	24年度事業実績	
	(1) 会議運営.....	7
	(2) 審査判定.....	11
	(3) 精神保健福祉施策.....	13
	(4) 精神科救急医療対策.....	14
	(5) 措置入院・措置診察業務.....	16
	(6) 自殺対策.....	17
	(7) ひきこもり対策.....	21
	(8) 人材育成.....	22
	(9) 普及啓発.....	27
	(10) 精神保健福祉相談	30

1 施設概要

(1) 名称 新潟市こころの健康センター

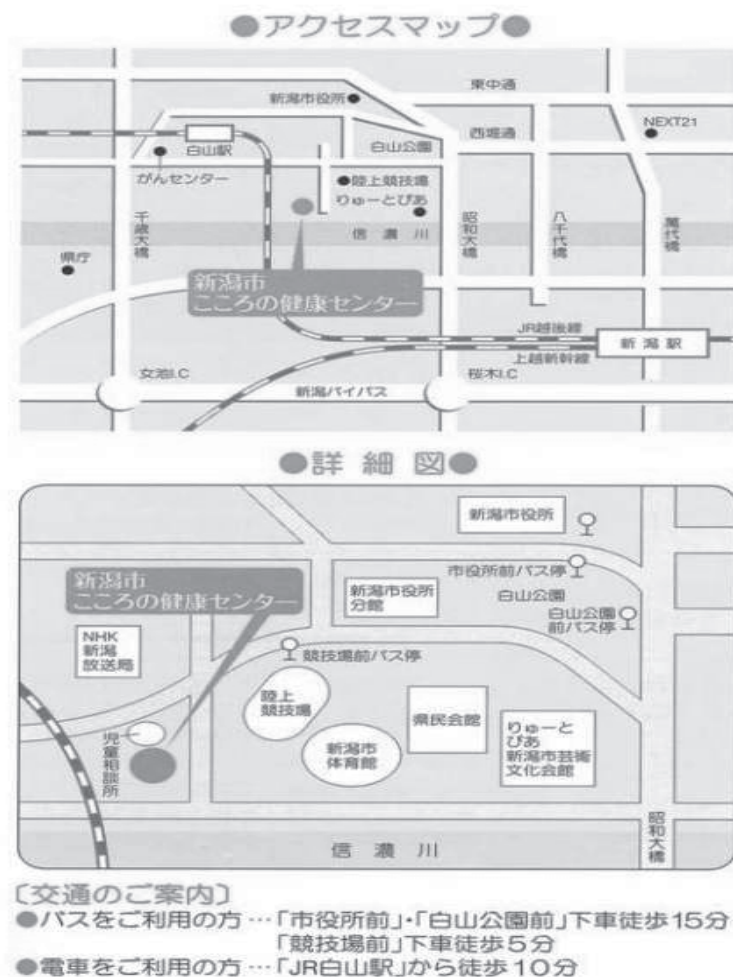
(2) 所在地 〒951-8133 新潟市中央区川岸町1丁目57番地1

電 話 025-232-5560 (相談専用)
025-232-5551 (事務連絡専用)
025-232-5580 (精神保健福祉室
いのちの支援室)
F A X 025-232-5568

(3) 沿革 平成19年4月1日 政令指定都市移行に伴い開設。

平成23年4月1日 組織改編に伴い、福祉部障がい福祉課より精神保健福祉室が移管、いのちの支援室を新設。

(4) 案内図



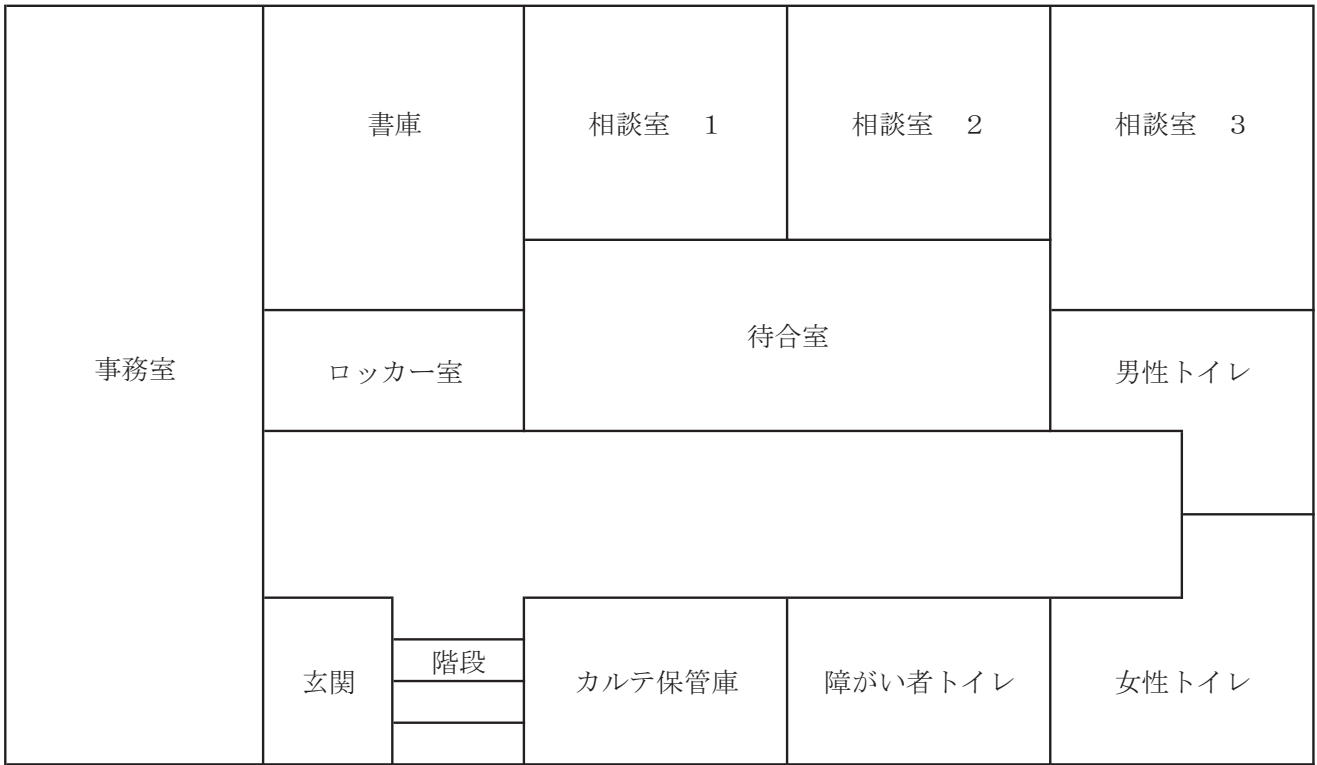
(5) 施設面積等

敷地面積	375.34㎡	
延べ床面積	423.78㎡	(庁舎417.66㎡) (駐輪場6.12㎡)
駐車場	25台	(児童相談所と共用)
構造	鉄筋コンクリート造2階建	

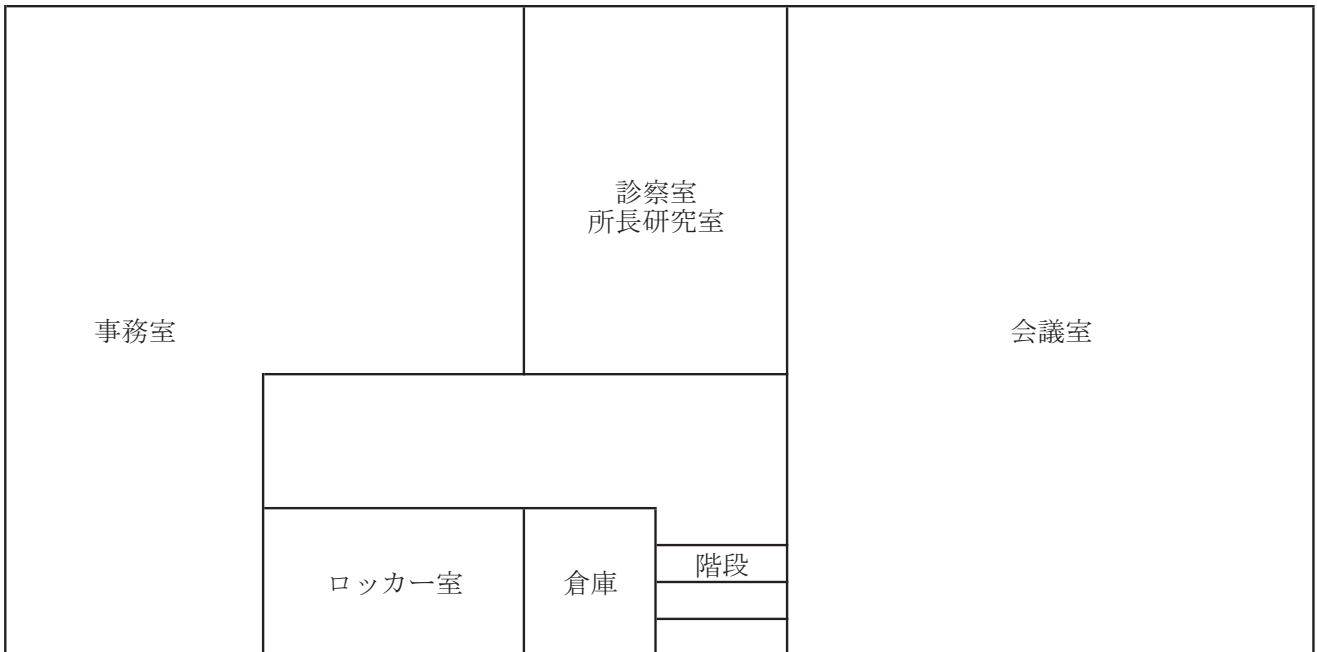
個別床面積 (㎡)		部 屋		
		番号	名 称	床面積 (㎡)
1階	134.73	1	風 除 室	4.72
		2	事 務 室	61.52
		3	書 庫	10.53
		4	ロ ッ カ ー 室	3.71
		5	相 談 室 1	9.85
		6	相 談 室 2	8.16
		7	相 談 室 3	14.40
		8	待 合 室	14.14
		9	カ ル テ 保 管 庫	7.70
2階	197.98	9	事 務 室	95.25
		10	会 議 室	72.83
		11	診 察 室 ・ 所 長 研 究 室	17.45
		12	ロ ッ カ ー 室	8.32
		13	倉 庫	4.13
合 計				332.71

(6) 施設平面図

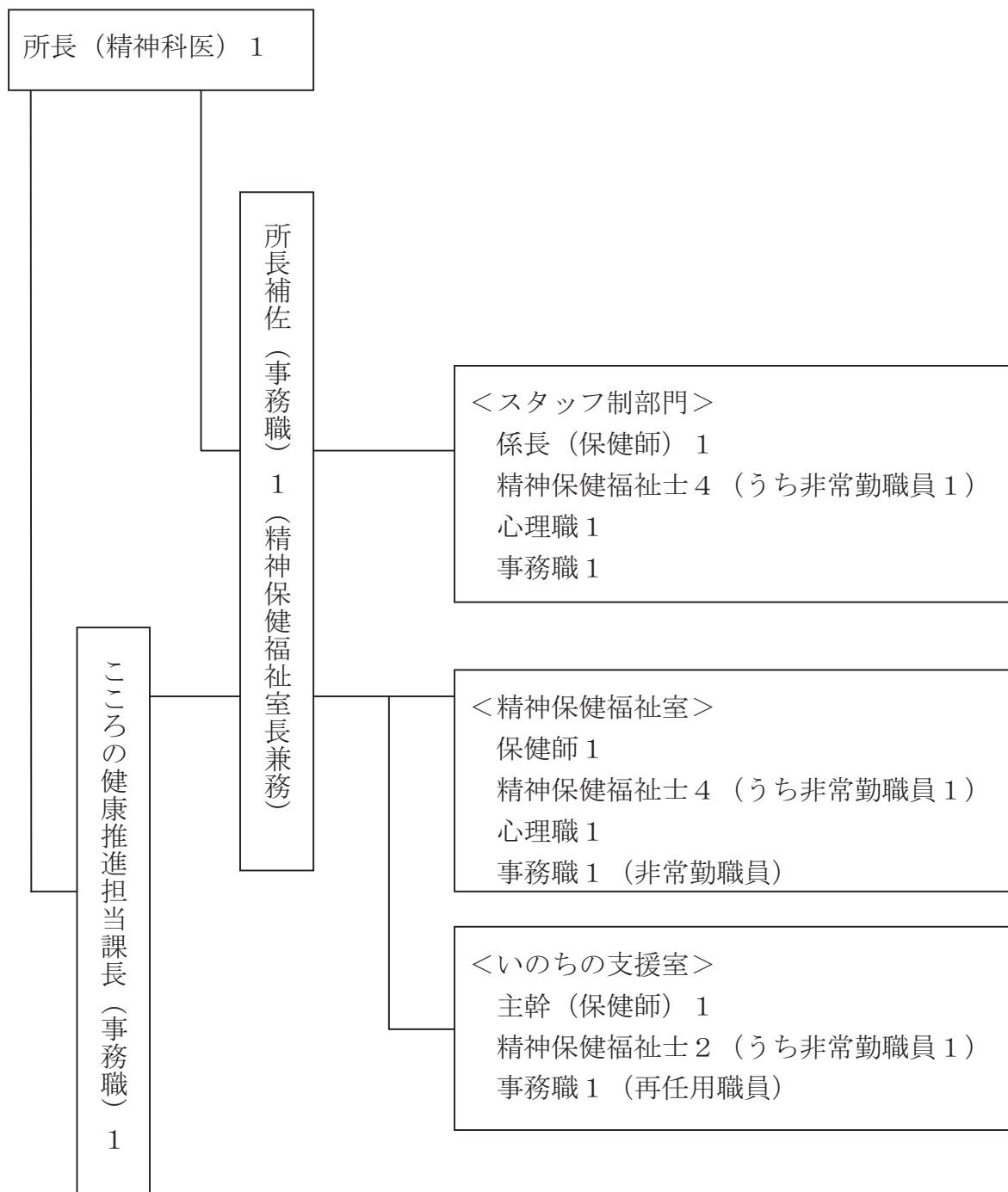
【1階】



【2階】



2 職 員 体 制



3 24年度 歳入歳出決算状況

(1) 歳 入

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
分担金及び負担金 (衛生費負担金)	121,902	措置入院費個人負担金
使用料及び手数料 (行政財産目的外使用料)	7,565	清涼飲料水自動販売機設置に伴う使用料
国庫支出金 (衛生費国庫負担金)	11,186,074	措置入院費等負担金 (車両リース代ほか)
(民生費国庫補助金)	4,065,000	ひきこもり対策推進事業費補助金
(衛生費国庫補助金)	23,108,490	精神科救急医療体制整備事業費補助金ほか
県支出金 (衛生費県補助金)	3,308,000	地域自殺対策緊急強化事業費補助金ほか
諸 収 入 (衛生費雑入)	51,656	自動販売機電気料ほか
合 計	41,848,687	

(2) 歳 出

科 目	決 算 額	備 考
報 酬	3,226,400	審査会委員, 手帳等判定医等の報酬
賃 金	451,620	デイケア等に係る賃金
報 償 費	772,700	研修会講師, 委員等謝礼
旅 費	2,423,935	職員旅費, 手帳等判定医費用弁償, 講師招聘旅費
需 用 費	7,522,763	事務用消耗品費, 印刷製本費, 光熱水費等
役 務 費	5,924,724	郵便料, 電話料, 文書料等
委 託 料	48,521,251	清掃, 警備 (機械), 自動ドア点検等
使用料及び賃借料	1,633,782	車両リース代, 会場使用料等
備 品 購 入 費	41,895	パンフレットスタンド
負担金補助及び交付金	8,722,000	補助金・加入団体等負担金等
扶 助 費	21,003,080	措置入院に係る医療費ほか
償 還 金 ・ 利 子 及 び 割 引 料	2,027,490	平成23年度分国庫負担 (補助) 金等の確定に伴う返納金
合 計	102,271,640	

4 24年度事業実績

(1) 会議運営

ア 精神保健福祉庁内ネットワーク会議

会場 及び 日程	内 容	参加機関・出席者数
【会 場】 新潟市役所本館 対策室 3 【日 程】 平成 25 年 1 月 8 日 (火) 午後 3 時～午後 4 時 30 分	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉に関する現状と課題 ・連携強化に向けての意見交換 ・新潟市自殺未遂者実態把握調査の把握 ・新潟市こころといのちの寄り添い支援事業について 等	福祉部障がい福祉課 区役所健康福祉課 区役所保護課 等 出席者数：34 人

イ 精神保健指定医会議／精神科病院事務長・看護部長会議

精神保健福祉行政の推進のため、新潟県精神医療機関協議会との共催により、精神保健指定医会議及び精神科病院事務長・看護部長会議を新潟県と共同で開催した。

また、厚生労働省から講師を招き、今後の精神保健医療改革の方向性に関する説明会も併せて開催した。

【会場：新潟県庁西回廊大会議室】

日 程	議 事	出席者
平成 25 年 1 月 30 日 (水) 午後 1 時 00 分 ～午後 5 時 00 分	【第 1 部】 今後の精神保健医療改革の方向性に関する説明会 講演「今後の精神保健医療改革の方向性について」 講師 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐 松本晃明 氏 【第 2 部】 精神保健指定医会議／精神科病院事務長・看護部長会議 「措置入院制度について」 「精神科救急医療対策事業について」 「精神医療審査会について」 「精神科病院実地指導等について」 「医療計画について」 「自殺対策について」 【第 3 部】 精神保健指定医会議（意見交換会）	精神保健指定医 : 50 名 精神科病院事務長等 : 25 名 精神科病院看護部長 : 18 名

ウ 精神保健福祉審議会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第9条及び新潟市精神保健福祉審議会条例に基づき、精神保健及び精神障がい者の福祉に関する事項を調査審議するため、年1回、精神保健福祉審議会を開催している。

【会場：白山会館 羽衣の間】

日 程	議 事	出席者
平成 25 年 2 月 5 日 (火) 午後 3 時 ～午後 5 時	「精神保健福祉施策について」 「新潟市自殺総合対策について」	委 員 : 12 名 事務局 : 7 名

エ 精神科救急医療システム連絡調整委員会

精神科救急医療システム連絡調整委員会は、精神科救急医療体制の円滑な運営を図るため、新潟県及び新潟市が共同で設置している。

【会場：新潟県精神保健福祉センター 2階研修室】

日 程	議 事 ・ 報 告	出席者
平成 25 年 3 月 18 日 (月) 午後 5 時 ～午後 6 時	【議 事】 「精神科救急医療対策事業の稼働状況について」 「新潟県地域保健医療計画の改定について」 「意見交換」	委 員 : 13 名 オブザーバー : 1 名 事務局 : 10 名

オ 措置入院制度連絡調整会議

措置入院制度の充実と円滑な運用を図るため、新潟県と共同で措置入院制度連絡調整会議を開催している。

【会場：新潟県精神保健福祉センター 2階研修室】

日 程	議 事	出席者
平成 25 年 3 月 18 日 (月) 午後 6 時 ～午後 7 時	【議 事】 「措置入院受入及び措置診察の実績報告について」 「措置入院のアンケートについて」 「意見交換」	委 員 : 11 名 オブザーバー : 1 名 事務局 : 10 名

カ 新潟市自殺対策協議会

本市の自殺対策に関する総合的な推進を図るため、自殺防止対策に関わる関係機関及び団体等で構成する新潟市自殺対策協議会を開催し、自殺対策に関する課題を検討した。

日 程	内 容	出席委員等
平成 24 年 10 月 31 日 (水) 午後 3 時 ～午後 5 時 【会場】 白山会館 2 階 胡蝶の間	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年自殺者数・自殺死亡率について (厚生労働省人口動態調査・内閣府調査) ・平成 23 年度新潟市自殺総合対策実務者ネットワーク会議の活動報告について ・平成 24 年度新潟市自殺総合対策の重点事業について ・自殺総合対策の連携推進体制の活動報告について ・自殺総合対策大綱の見直しについて 	出席委員：20 人 関係課オブザーバー：20 人 (庁内推進会議委員)
平成 25 年 2 月 4 日 (月) 午後 1 時 30 分 ～午後 3 時 30 分 【会場】 市役所本館 3 階 対策室	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市自殺未遂者実態把握調査の報告について ～調査結果から見えた新潟市における実態～ 講師：新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科 教授 田邊 直仁 氏 ・平成 24 年度新潟市自殺総合対策関連事業の実施状況について ・平成 25 年度新潟市自殺総合対策事業（案）について ・その他 	出席委員：19 人 関係課オブザーバー：22 人 (庁内推進会議委員)

キ 新潟市自殺総合対策庁内推進会議

自殺総合対策庁内推進会議では、自殺防止に関わる本市の庁内関係課から構成され、庁内の連携を強化し、自殺対策を総合的に推進するための対策について検討した。

日 程	内 容	出席委員
平成 25 年 1 月 29 日 (火) 午後 3 時 ～午後 5 時 【会場】 市役所本館 6 階 講堂	<p>【講演】</p> <p>「新潟市の自殺対策に期待するもの」</p> <p>講師：新潟市自殺対策協議会長 医療法人 恵生会 南浜病院長 後藤 雅博 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市自殺未遂者実態把握調査結果について ・こころといのちの寄り添い支援事業について 	出席委員：32 人

ク 新潟市自殺対策協議会働き盛りの年代における自殺対策作業部会

新潟市自殺対策協議会働き盛りの年代における自殺対策作業部会では、地域と職域におけるメンタルヘルス対策に携わる関係機関・団体の実務担当者から構成され、働き盛りの年代や小規模事業場におけるメンタルヘルスに関する現況と課題や対策について検討した。

日 程	内 容	出席委員
平成 25 年 1 月 23 日 (水) 午後 3 時 ～午後 5 時 【会場】 市役所本館 5 階 501 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・本市における働き盛りの年代における自殺対策の現状と課題について ・各所属における働き盛りの年代における自殺対策の現状と課題について ・本作業部会の活動について ・その他 	出席委員：11 人

ケ 自殺対策実務者ネットワーク会議

自殺対策の推進に向けて、関係機関・団体における実務者レベルの密接な連携を強化し、本市の自殺対策の課題を共有しながら、問題解決に向けた具体的な対策を検討する場として、本会議を開催した。

【会場：新潟市こころの健康センター 会議室】

日 程	内 容	参加者団体及び参加者数
平成 24 年 4 月 19 日 (木) 6 月 4 日 (月) 6 月 24 日 (月) 7 月 23 日 (月) 8 月 27 日 (月) 10 月 1 日 (月) 11 月 8 日 (木) 12 月 18 日 (火) 平成 25 年 2 月 7 日 (木) いずれも 午後 6 時 30 分 ～午後 8 時 30 分 全 9 回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度連携・協働で行う事業の検討 ・各関係機関・団体における取り組み紹介 ・平成 24 年度いのちを守る超連続勉強会に係る研修会の企画運営、実施後の振り返りについて ・くらしとこころの総合相談会についてなど 	<p>【参加団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県弁護士会 ・社団法人 新潟市薬剤師会 ・NPO法人新潟NPO協会 ・ネットワークささえあい・新潟～自殺のない社会づくり～ ・新潟市こころの健康センター <p>参加者数：延べ 117 人</p>

(2) 審査判定

ア 精神医療審査会事務

精神医療審査会は、精神障がい者の人権に配慮しつつ、その適正な医療及び保護を確保するために、精神科病院に入院している精神障がい者の処遇などについて、専門的かつ独立的な機関として審査を行っている。

委員体制

合議体 2合議体

委員数 15人（医療委員6人 法律家委員5人 有識者委員4人）

開催状況

合議体 開催回数 18回 出席委員数 延87人

総会 開催回数 1回 出席委員数 延12人

退院等請求審査

区分	審査件数	審査結果				意見聴取件数	取り下げ件数 (含消失)	請求件数
		現在の入院形態による入院又は処遇は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院又は処遇は不適當			
退院請求	30	30	0	0	0	27 注3	21	51
処遇改善請求	12	12			0	12	6	18
合計	42 (2.33) 注1	42	0	0	0	39	27 (39.1) 注2	69

注1) ()内は1回あたりの審査件数

注2) ()内は請求件数に占める取り下げ件数の割合(%)

注3) 6ヶ月以内の複数回請求 … 審査後、意見聴取実施せず。(3件)

書類審査

区分	審査件数	審査結果				意見聴取件数
		現在の入院形態による入院は適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求めることが適当	入院継続又は処遇内容は不適當	
医療保護入院届	1,192	1,192	0	0	0	0
定期病状 報告書						
措置入院	4	4	0	0	0	0
医療保護入院	1,469	1,469	0	0	0	0
合計	2,665 (148.1) 注1	2,665	0	0	0	0

注1) ()内は1回あたりの審査件数

退院等請求相談電話の受理状況

件数	内訳		
	入院者本人	保護者等	その他
241	221	3	17

審査実績年次推移

	21年度	22年度	23年度	24年度
審査会開催回数	18	18	18	18
退院等請求審査件数	33	28	33	42
入院届審査件数	1,273	1,238	1,263	1,192
定期病状報告書審査件数	1,380	1,369	1,412	1,473

イ 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費（精神通院医療）に関する判定事務

精神障害者保健福祉手帳の交付の可否及び等級判定，精神障害者の自立支援医療費に係る支給認定のうち，専門的な知識及び技術を必要とするものに関して，委員6名で構成される精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費支給認定判定会において判定を行っている。

判定会開催回数

月2回（年間24回）

精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定件数		1071		
承認	内訳	新規	393	
		更新	655	
		等級変更	9	
		計	1,057	
承認	<区分>	<1級>	<2級>	<3級>
		116	880	61
不承認		14		

自立支援医療費判定件数

判定件数		3,063
承認	新規	1,443
	更新	1,613
	計	3,056
不承認		7

(3) 精神保健福祉施策

ア 精神障がい者地域移行・地域定着支援

精神障がい者地域移行・地域定着支援事業は、精神科病院において、社会的入院となっている長期入院者に対し、入院中から個別支援(申請前支援)を行い、退院後も地域において自立した生活を安定して継続できるよう支援することを目的に実施している。

精神科病院に1年以上入院している者のうち、病状が安定しており、受入条件が整えば退院可能な精神障がい者で、原則、入院前の住所を新潟市内に有する者に対し、生活技術の向上や地域生活に対する不安軽減のため、コーディネーターの作成する個別支援計画に基づき必要な支援を行った。

年 度	新潟市			五泉市, 阿賀野市, 阿賀町		
	事業利用者数		退院者数	事業利用者数		退院者数
		うち新規			うち新規	
平成 19 年度	2	2	0	0	0	—
平成 20 年度	3	1	2	0	0	—
平成 21 年度	2	1	1	0	0	—
平成 22 年度	3	2	2	2	2	1
平成 23 年度	5	3	1	—	—	—
平成 24 年度	16	16	4			

※1 平成 22 年度までは県事業だったため、実績は医療圏域単位となる。平成 23 年度から、市事業となった。
(新潟圏域：新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町)

※2 平成 24 年度より、具体的な退院支援が障害者自立支援法の個別給付化されたため、本事業では個別給付の申請につなげるための支援(申請前支援)を行う。

イ 精神障がい者社会適応訓練

通常の事業所に雇用されることが困難な精神障がい者を、精神障がい者の社会経済活動への参加の促進に熱意のある事業所に委託して、職業を与えるとともに、社会生活への促進に必要な訓練を行い、精神障がい者の社会復帰の促進及び社会経済活動への参加の促進を図ることを目的に実施している。

年 度	前期利用者数		後期利用者数	
		うち新規		うち新規
平成 20 年度	4	4	4	0
平成 21 年度	3	1	2	0
平成 22 年度	3	2	4	2
平成 23 年度	5	2	5	0
平成 24 年度	5	1	4	0

(4) 精神科救急医療対策

ア 精神科救急医療システム

休日昼間と夜間において、精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする者に対して精神科救急医療体制を確保するため、新潟県と共同で精神科救急医療システムを運営している。

【休日昼間】

年 度	ブロック		県 北	新潟・佐渡	県 央	魚 沼	上 越	合 計
	状 況							
平成20年度	稼働日数		48	136	67	63	63	377
	当番日数		122	172	122	122	122	660
	稼働率		39.3%	79.1%	54.9%	51.6%	51.6%	57.1%
	対応件数	電話のみ	16	179	22	37	76	330
		来院	47	153	87	68	61	416
		計	63	332	109	105	137	746
入院		8	54	32	11	20	125	
平成21年度	稼働日数		55	131	70	58	59	373
	当番日数		123	173	123	123	123	665
	稼働率		44.7%	75.7%	56.9%	47.2%	48.0%	56.1%
	対応件数	電話のみ	25	114	33	26	113	311
		来院	52	169	106	68	53	448
		計	77	283	139	94	166	759
入院		13	42	30	17	20	122	
平成22年度	稼働日数		50	107	66	60	63	346
	当番日数		122	172	122	122	122	660
	稼働率		41.0%	62.2%	54.1%	49.2%	51.6%	52.4%
	対応件数	電話のみ	25	114	20	32	122	313
		来院	60	139	86	67	57	409
		計	85	253	106	99	179	722
入院		16	39	34	24	18	131	
平成23年度	稼働日数		52	103	62	45	76	338
	当番日数		122	172	122	122	122	660
	稼働率		42.6%	59.9%	50.8%	36.9%	62.3%	51.2%
	対応件数	電話のみ	12	93	24	29	116	274
		来院	54	113	64	43	58	332
		計	66	206	88	72	174	606
入院		12	30	17	16	20	95	
平成24年度	稼働日数		58	110	56	41	78	343
	当番日数		120	170	120	120	120	650
	稼働率		48.3%	64.7%	46.7%	34.2%	65.0%	52.8%
	対応件数	電話のみ	28	92	25	21	119	285
		来院	46	118	60	36	54	314
		計	74	210	85	57	173	599
入院		13	33	20	5	26	97	

【夜間】

年 度	ブロック		県 北	新潟・佐渡	県 央	魚 沼	上 越	合 計
	状 況							
平成20年度	稼働日数		—	25	157	30	—	212
	当番日数		—	52	261	52	—	365
	稼働率		—	48.1%	60.2%	57.7%	—	58.1%
	対応件数	電話のみ	—	7	77	10	—	94
		来院	—	36	229	38	—	303
		計	—	43	306	48	—	397
入院		—	7	69	9	—	85	
平成21年度	稼働日数		—	35	174	25	—	234
	当番日数		—	52	261	52	—	365
	稼働率		—	67.3%	66.7%	48.1%	—	64.1%
	対応件数	電話のみ	—	24	109	5	—	138
		来院	—	55	232	34	—	321
		計	—	79	341	39	—	459
入院		—	17	57	8	—	82	
平成22年度	稼働日数		68	71	144	12	29	324
	当番日数		92	104	271	32	58	557
	稼働率		73.9%	68.3%	53.1%	37.5%	50.0%	58.2%
	対応件数	電話のみ	130	79	58	2	59	328
		来院	81	74	199	12	13	379
		計	211	153	257	14	72	707
入院		14	23	55	3	6	101	
平成23年度	稼働日数		77	71	137	17	26	328
	当番日数		96	113	275	33	58	575
	稼働率		80.2%	62.8%	49.8%	51.5%	44.8%	57.0%
	対応件数	電話のみ	145	61	68	7	39	320
		来院	78	73	159	18	8	336
		計	223	134	227	25	47	656
入院		13	27	35	8	3	86	
平成24年度	稼働日数		64	59	131	9	28	291
	当番日数		93	116	274	33	58	574
	稼働率		68.8%	50.9%	47.8%	27.3%	48.3%	50.7%
	対応件数	電話のみ	79	40	66	0	25	210
		来院	55	64	156	10	23	308
		計	134	104	222	10	48	518
入院		10	17	49	3	11	90	

イ 精神科救急医療システム連絡調整委員会

精神科救急医療システム連絡調整委員会は、精神科救急医療体制の円滑な運営を図るため、新潟県及び新潟市が共同で設置している。（8ページ参照）

(5) 措置入院・措置診察業務

ア 入院措置業務

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第23条から第26条までの規定による申請、通報又は届出のあった者について調査の上必要があると認めるときは、同法第27条に基づき、精神保健指定医による措置診察を実施している。

(件)

年 度	申請・通報等種別	申請・通報等件数	措置診察件数	要措置件数	措置不要件数
平成20年度	23条申請	0	0	0	0
	24条通報	26	22	20	2
	25条通報	5	1	1	0
	26条通報	19	1	0	1
	合 計	50	24	21	3
平成21年度	23条申請	0	0	0	0
	24条通報	32	23	20	3
	25条通報	13	3	2	1
	26条通報	21	1	1	0
	合 計	66	27	23	4
平成22年度	23条申請	1	0	0	0
	24条通報	36	20	12	8
	25条通報	30	5	4	1
	26条通報	30	0	0	0
	合 計	96	25	16	9
平成23年度	23条申請	0	0	0	0
	24条通報	50	26	19	7
	25条通報	22	6	2	4
	26条通報	30	1	0	1
	合 計	102	33	21	12
平成24年度	23条申請	0	0	0	0
	24条通報	61	33	27	6
	25条通報	24	8	7	1
	26条通報	37	3	2	1
	合計	122	44	36	8

イ 措置入院制度連絡調整会議

措置入院制度の充実と円滑な運用を図るため、新潟県と共同で措置入院制度連絡調整会議を開催している。

(8ページ参照)

(6) 自殺対策

ア 計画の推進

(ア) 新潟市自殺総合対策庁内推進計画の推進

「新潟市自殺総合対策庁内推進計画」を推進し、全庁的な自殺対策の取り組みを強化するため、「新潟市自殺総合対策庁内推進会議」を開催し、各課における自殺対策に関連する課題及び取組等協議した。

(イ) 新潟市自殺総合対策行動計画の推進

市民や地域、学校、関係機関・団体と行政が一丸となって総合的な自殺対策に取り組み、一人でも多くの尊い命を守ることを目的に、平成 24 年 3 月に策定した「新潟市自殺総合対策行動計画」を地域及び関係機関等様々な研修会・会合に出向き、普及啓発を図った。

イ 実態把握

(ア) 新潟市自殺未遂者実態把握調査（平成 22 年～平成 24 年度の 3 年事業）

本市における自殺のハイリスク者である自殺未遂者の実態を把握し、ニーズや支援の介入ポイントを明らかにすることにより、実情に即した効果的な自殺対策を推進することを目的に本調査を実施した。

調査対象期間	平成 19 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日
調査方法	(1) 調査協力医療機関の自殺未遂または自傷行為による受診者に関する医療機関調査情報を分析する。 (2) 調査協力医療機関の自殺未遂または自傷行為による受診者に関する医療機関調査情報と人口動態調査死亡小票を突合し、分析する。
調査協力医療機関	・新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター ・新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター
調査内容	(1) 実態把握の断面調査 ・自殺未遂者・既遂者の特徴（性、年齢、職業、同居家族の有無、自殺未遂時の手段、時間、場所、薬物乱用の有無、精神科受診歴の有無、自殺自傷歴の有無など）や、未遂者と既遂者の特徴の違いを把握する。 ・救急医療の場において、自殺未遂者に対する精神科医の関与や情報提供がどの程度行われているか実態を把握する。 (2) 未遂者予後調査 ・自殺未遂者がその後どの程度の頻度で自殺を完遂し、あるいは、未遂再受診するのか、予後の実態を明らかにする。 ・自殺完遂や未遂再受診に至りやすい自殺未遂者の特徴を把握する。 ・自殺未遂者に対する精神科医の関与が自殺完遂や未遂再受診のリスク低下と関連しているか明らかにする。

ウ 人材育成

(ア) 新潟市自殺対策フォーラム

新潟市自殺対策推進月間における取り組みの一環として、うつ病やこころの健康についてテーマとして取り上げ、自殺についての理解を深め、周囲の“気づき”により早期発見・早期治療を促し、自殺予防につなげることを目的にフォーラムを実施した。(23ページ参照)

(イ) 新潟市自殺予防ゲートキーパー養成研修会

自殺の危険性の高い人への対応や、専門機関へのつなぎ等、さらに高度な知識と技術を以って対応できるゲートキーパーを養成することを目的に研修会を開催した。(23, 24ページ参照)

(ウ) いのちを守る超連続勉強会

自殺防止対策の推進に向けて、各関係機関・団体の活動内容、専門性等を理解し、密接な連携の中で、顔の見えるネットワークづくりを進めていくことを目的に、各団体と協働して研修会を開催した。(24, 25ページ参照)

エ 相談支援

(ア) 新潟市こころといのちの寄り添い支援（自殺未遂者再企図防止）事業

事業内容	自殺未遂者やその家族等に対して相談支援を行うとともに、地域における医療・保健・福祉関係者による支援体制を構築することにより、再企図を防止することを目的とする。
事業対象者	(1) 新潟市内に居住する者 (2) 救命救急センターに自殺未遂で搬送され、入院した患者で、患者本人又は家族の同意が得られた者を対象とする。 ただし、当該患者がセンターに搬送される前から継続的に精神科治療を受けている者は除く。しかし、救命救急センターの医師等が当該事業の支援が必要と認めたものはこの限りではない。
事業実施時間	(1) 平日：午前9時から午後4時まで

相談実績

平成24年度実績については、10月1日より事業を開始したため、6ヶ月間の実績となる
相談件数及び支援方法別内訳

実人数	相談件数	相談方法（件）					計
		訪問	来所	電話	その他	関係機関調整	
8	98	8	9	34 (うち単発相談10件)	2	45	98

(イ) こころといのちのホットライン事業

健康、生活問題等に悩みを抱える市民にきめ細かくに対応するため、平成23年3月から、平日夜間や休日昼間の電話相談窓口を開設し、相談支援体制の充実を図った。

事業内容	平日の日中に相談できない市民のために、平日夜間及び休日の時間帯に相談窓口を設け、自殺の危険性の高い方に対する相談支援の充実を目的に、こころといのちのホットライン事業を委託事業で実施する。 委託事業者：新潟市社会福祉協議会	
事業対象者	原則として新潟市内に在住する者	
事業実施時間	(1) 平日：午後5時から午後10時まで (2) 土日、祝日：午前10時から午後4時まで (3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び1月2日、1月3日並びに12月29日から31日まで：午前10時から午後4時まで	
相談実績	【平成22年度】 152件※ 【平成23年度】 1,638件／年 【平成24年度】 2,841件／年	※平成22年度の実績については、3月1日より事業開始のため、1ヵ月分の実績となる。

オ 事業推進体制

(ア) 新潟市自殺対策協議会

本市の自殺対策に関する総合的な推進を図るため、自殺防止対策に関わる関係機関及び団体等で構成する新潟市自殺対策協議会を開催し、自殺総合対策に関する課題等を検討した。（9ページ参照）

(イ) 新潟市自殺総合対策庁内推進会議

自殺総合対策庁内推進会議では、自殺防止に関わる本市の庁内関係課から構成され、庁内の連携を強化し、自殺対策を総合的に推進するための対策について検討した。（9ページ参照）

(ウ) 新潟市自殺対策協議会働き盛りの年代における自殺対策作業部会

新潟市自殺対策協議会働き盛りの年代における自殺対策作業部会では、地域と職域におけるメンタルヘルス対策に携わる関係機関・団体の実務担当者から構成され、働き盛りの年代や小規模事業場におけるメンタルヘルスに関する現状と課題及び対策について検討した。（10ページ参照）

(エ) 自殺対策実務者ネットワーク会議

自殺対策の推進に向けて、関係機関・団体における実務者レベルの密接な連携を強化し、本市の自殺対策の課題を共有しながら、問題解決に向けた具体的な対策を検討する場として、本会議を開催した。

（10ページ参照）

カ 普及啓発

新潟市自殺防止街頭キャンペーン

新潟市自殺対策推進月間において、自殺予防に関する相談窓口資料などが入った啓発用グッズを直接市民等に手渡して呼びかけ、自殺対策への関心を高めることを目的に街頭キャンペーンを実施した。(28ページ参照)

(7) ひきこもり対策

ひきこもりの支援を推進し、その長期化を防ぐため、ひきこもりに関する総合的な窓口として、平成 23 年 8 月 1 日「新潟市ひきこもり相談支援センター」を新潟市万代市民会館 5 階に開設した。運営は事業者に委託し、相談支援、訪問（アウトリーチ）支援、普及啓発等を行った。また、現在、毎週水曜日に当事者等を対象とした居場所支援を実施している。

ひきこもり相談支援センター事業実績

ア 職員体制

事業責任者兼相談コーディネーター（1人）、

支援コーディネーター（3人）、うち精神保健福祉士・社会福祉士 1人

イ 相談、訪問実績年次推移

	平成 23 年 8 月～平成 24 年 3 月		平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	
	実人数	延人数	実人数	延人数
訪問件数	20	69	48	226
相談総件数	160	634	262	1,306
・電話相談	72	177	115	429
・面接相談	80	378	121	612
・メール相談	6	8	19	32
・所外相談	2	2	6	7

※所外相談とは、新潟市万代市民会館および自宅以外での面接相談

ウ 年齢別新規登録者数

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	年齢不明	合計
平成 23 年 8 月～ 平成 24 年 3 月	16	33	12	13	3	26	103
平成 24 年 4 月～ 平成 25 年 3 月	17	48	36	17	5	5	128

エ 居場所等プログラム参加数

	実施回数	合計人数	男性(本人)	女性(本人)	保護者
平成 23 年 8 月～平成 24 年 3 月	28	199	144	48	11
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	57	495	359	102	34

(8) 人材育成

ア 精神保健福祉研修会 基礎研修

精神保健福祉業務に従事する新任者が、精神疾患の基礎知識及び相談の基礎技術を習得し、円滑に業務を遂行できることを目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市役所本館 対策室 1～3】

日 程	内 容	対 象 ・ 参 加 者
平成 24 年 6 月 11 日 (月) 午前 10 時 30 分 ～ 午後 5 時 00 分	「精神疾患の基礎知識」 こころの健康センター 所長 福島 昇 「新潟市こころの健康センターの概要」 こころの健康センター 係長 佐々木 朝子 「新潟市の精神保健福祉施策の概要」 こころの健康センター 精神保健福祉室 副主査 吉田 桂 「新潟市の自殺対策について」 こころの健康センター いのちの支援室 主幹 青柳 玲子 「良き聴き手になるために～相談の基本～」 新潟大学 教育・学生支援機構 教育支援センター 特任教授 中村 協子 氏	【対象】 精神保健福祉業務の従事経験が概ね 3 年未満で精神保健福祉の基礎知識の習得を必要とする職員 ・医療機関 ・障がい福祉サービス事業所 ・行政職員 【参加者】 実人数 ・医療機関：8 人 ・障がい福祉サービス事業所：29 人 ・行政機関：24 人 合計：61 人

※6 月 11 日に実施した基礎研修が定員超過となり追加で実施した研修 【会場：新潟市役所第 2 分館 404 会議室】

日 程	内 容	対 象 ・ 参 加 者
平成 24 年 7 月 2 日 (月) 午後 1 時 10 分 ～ 午後 5 時 00 分	「精神疾患の基礎知識」 こころの健康センター 所長 福島 昇 「良き聴き手になるために～相談の基本～」 新潟大学 教育・学生支援機構 教育支援センター 特任教授 中村 協子 氏	【対象】 精神保健福祉業務の従事経験が概ね 3 年未満で精神保健福祉の基礎知識の習得を必要とする職員 ・行政職員 【参加者】 実人数 ・行政機関：28 人

イ 精神保健福祉研修会 専門研修

(ア) 第 1 回 (統合失調症)

統合失調症についての知識を深め、事例検討を通じて統合失調症者への援助技術を習得することを目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市こころの健康センター 会議室】

日 程	内 容	対 象 ・ 参 加 者
平成 24 年 8 月 29 日 (水) 午後 1 時 10 分 ～ 午後 5 時 00 分	「統合失調症の症状と治療」 こころの健康センター 所長 福島 昇 「事例検討」 こころの健康センター 所長補佐／精神保健福祉室長 治 雅史	【対象】 相談支援業務が概ね 2 年以上の者 ・行政機関 【参加者】 実人数 ・行政機関：8 人

平成 24 年 9 月 3 日 (月) 午後 1 時 10 分 ～ 午後 5 時 00 分		【対象】 相談支援業務が概ね 2 年以上の者 ・ 行政機関 【参加者】 実人数 ・ 行政機関：12 人
---	--	---

(イ) 第 2 回 (気分障害)

現代の若者 (10 代後半～30 代) に多いうつ病の特徴や対応方法を理解し、今後の相談支援業務を円滑に遂行できることを目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市役所本館 6 階 講堂】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 25 年 1 月 24 日 (木) 午後 1 時 00 分 ～ 午後 3 時 45 分	「若者に多いうつ病の特徴とその対応方法」 新潟大学 人文社会・教育学系 人間形成科学列 教育学部教育科学講座 教授 横山 知行 氏	【対象】 市内の関係機関に所属し、若者の相談支援業務に従事する者 ・ 医療機関 ・ 中学校、高等学校 ・ 指定相談支援事業所／関係機関 ・ 行政機関 【参加者】 実人数 ・ 医療機関：10 人 ・ 中学校・高等学校：36 人 ・ 指定相談支援事業所／関係機関：15 人 ・ 行政機関：46 人 合計：107 人

(ウ) 第 3 回 (依存症)

ギャンブル、買い物依存症についての知識を習得し依存症の予防、啓発を目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市役所本館 6 階 講堂】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 25 年 1 月 31 日 (木) 午後 2 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分	「本当は怖いギャンブル・消費への“はまり過ぎ”」 新潟大学 人文社会・教育学系 教授 (臨床学博士) 神村 栄一 氏	【対象】 (1) ギャンブル、買い物依存症について理解を深めたい者 (2) ギャンブル、買い物依存症について知識の習得を必要とする者 ・ 障がい福祉サービス事業所 ・ 関係機関 ・ 行政機関 【参加者】 実人数 ・ 障がい福祉サービス事業所／関係機関：18 人 ・ 行政機関：40 人 合計 58 人

ウ 新潟市自殺対策フォーラム

新潟市自殺対策推進月間における取り組みの一環として、うつ病やこころの健康についてテーマとして取り上げ、自殺についての理解を深め、周囲の“気づき”により早期発見・早期治療を促し、自殺予防につなげることを目的にフォーラムを実施した。

【会場：新潟ユニゾンプラザ 大ホール】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 24 年 9 月 9 日 (日) 午前 1 時 ～午後 4 時	≪シンポジウム≫ テーマ「大切ないのちを守るために～自殺予防、それぞれの立場からできること～」 〈シンポジスト〉 ・詩人 月乃 光司 氏 ・新潟県弁護士会 人権擁護委員会 副委員長 大田 陸介 氏 ・特定非営利活動法人 新潟NPO協会 理事 吉川 静 氏 ・社団法人 新潟市薬剤師会 副会長 國井 洋子 氏 ≪講演会≫ 演題「病気になる人、ならない人 —現代人のメンタルヘルス—」 講師：内科医・作家 おおたわ 史絵 氏	【対象】 一般市民，医療機関，行政機関，教育機関，福祉機関，研究機関，精神保健福祉活動や自殺予防活動に取り組んでいる民間団体，企業・産業保健関係者等 【参加者】 309 人

エ 新潟市自殺予防ゲートキーパー養成研修会

自殺の危険性の高い人への対応や、専門機関へのつなぎ等、さらに高度な知識と技術を以って対応できるゲートキーパーを養成することを目的に研修会を開催した。

【会場：新潟市民プラザ】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 24 年 11 月 4 日 (日) 午後 2 時 ～午後 4 時	「ギャンブル依存を克服した人・できなかった人 100 のカウンセリング事例からわかったこと」 講師：新潟大学人文社会・教育科学系 教授 神村 栄一 氏	【対象】 ケアマネジャー，地域包括支援センター職員，民生委員，市内企業の健康管理者，精神保健福祉関係機関職員，新潟県精神保健福祉協会新潟市支部会員，小・中・高等学校教員，市役所・区役所窓口担当者，地域保健福祉センター職員，応用編研修受講者で案内を希望した者など 【参加者】 153 人

【会場：朱鷺メッセ メインホール】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 24 年 12 月 9 日 (日) 午前 10 時 ～正午	「パーソナリティ障害と自殺未遂・自傷行為 ～自殺予防のために～」 講師：東京都立松沢病院 精神科部長 林 直樹 氏	【対象】 ケアマネジャー，地域包括支 援センター職員，民生委員，市内企 業の健康管理者，精神保健福祉関係 機関職員，新潟県精神保健福祉協会 新潟市支部会員，小・中・高等学校 教員，市役所・区役所窓口担当者， 地域保健福祉センター職員，応用編 研修受講者で案内を希望した者 など 【参加者】 204 人

オ いのちを守る超連続勉強会

自殺防止対策の推進に向けて，各関係機関・団体の活動内容，専門性等を理解し，密接な連携の中で，顔の見えるネットワークづくりを進めていくことを目的に，各団体と協働して研修会を開催した。

日 程	内 容	対象・参加者
【第 1 回】 平成 24 年 9 月 23 日 (日) 正午～午後 5 時 会場： 新潟市民映画館 シネ・ウインド 新潟市総合福祉 会館 4 階 408・409 会議室	・新潟県弁護士会及び新潟市薬剤師会における 団体紹介 ・映画上映「それでも，愛してる」 ・講演会及びワークショップ 演題「自殺予防の効果をあげるために」 講師：元教員・自殺防止の電話相談員歴 27 年 横瀬 功 氏	【対象】 市民，各相談機関に所属する 担当者，活動されている方な ど 【参加者】 39 人
【第 2 回】 平成 24 年 12 月 1 日 (土) 午後 3 時 ～午後 5 時 30 分 会場： 白山会館 2 階 大明の間	・シンポジウム 〈シンポジスト〉 新潟県パーソナル・サポートセンター，自殺予 防ネットワーク風，新潟いのちの電話，新潟県 弁護士会，新潟市社会福祉協議会，新潟市教育 委員会保健給食課，看護師 ・事例検討会 「自分ならできる事，この団体に聞きたい事」	【対象】 各相談機関に所属する担当 者，活動されている方など 【参加者】 78 人

<p>【第3回】 平成25年 3月16日(土) 午後3時～ 午後6時</p> <p>会場： 新潟市民映画館 シネ・ウインド</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映画上映「希望のシグナル」 ・トークショー 都鳥監督 NPO法人蜘蛛の糸 理事長 佐藤 久男 氏 	<p>【対象】 各相談機関に所属する担当者，活動されている方など</p> <p>【参加者】 50 人</p>
--	--	--

(9) 普及啓発

ア うつ病の家族教室

うつ病患者の家族に対し、病気について必要な知識の情報提供を行い、対応方法を共に考え、家族自身のもつ力を引き出すことを目的に実施した。

【会場：新潟市こころの健康センター】

	日 時	内 容	対象・参加者
第1回	平成25年2月18日(月) 午後2時～4時	【講義】 「うつという病」 講師 こころの健康センター 所長 福島 昇	【対象】 以下の要件を満たしている方の家族
第2回	平成25年3月4日(金) 午後2時～4時	【グループワーク】 「家族の気持ちを話してみましょう ①」 担当 精神保健福祉相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「うつ病」の診断名で現在通院中 ・ 市内在住 ・ 全回参加可能
第3回	平成25年3月18日(金) 午後2時～4時	【グループワーク】 「家族の気持ちを話してみましょう ②」 担当 精神保健福祉相談員	
			【参加者】 延べ 19人

イ 新潟市民健康福祉まつりへの参加

日 時	内 容	対象・参加者
平成24年10月14日(日) 午前10時30分～午後3時	【健康ひろばのコーナー】 「アルコール体質判定」 アルコール体質判断テストの実施 パネル展示、パンフレット配布	【対 象】 一般市民 【参加者】 350人

ウ 出前講座

庁内の相談支援職員、庁外の公的機関や企業などの外部機関、また一般市民への技術援助や普及啓発活動を実施した。

内 容	依頼対象・回数・参加人数
依頼テーマ： 「職場のメンタルヘルスについて」 「薬物依存の概要と家族の心構えについて」 「精神疾患についての知識および地域における対応」 「対応のむずかしい相談への対処方法について」 「こころの健康とストレスとの上手なつきあい方」 「精神保健医療支援の在り方について～中越地震におけるこころのケアチーム(39チーム)の相談記録の分析から～」 「病気とつきあいながら働く」 「自殺予防について」 等	【依頼機関・対象】 一般市民、民生委員、介護保険・医療・福祉関係機関、公的機関、高等学校(生徒)、区役所等窓口相談担当職員、新潟地方検察庁、新潟保護観察所 等 【実施回数】 55回 【参加人数】 3,277人 { スタッフ部門 25回 1,639人 精神保健福祉室 4回 160人 いのちの支援室 26回 1,478人

エ ひきこもり ^{アート} ^{フォーラム} ART FORUM はじめの一步展 プレイベント

ひきこもり当事者の社会参加へのきっかけ作り，人と人のつながり，市民への啓発普及を目的に，ひきこもり経験者やその家族，関係団体や学識者らと協働作業で準備し実施した。

開催日時： 平成24年6月2日(土)・3日(日)	【会場： 新潟市万代市民会館5階】
参加者： 延べ 349人	
展覧会	ひきこもり経験者や，ひきこもっている人，そのご家族の作品を展示。 出品者数：34人 出品数：66点。
チャレンジラジオ	月乃光司さんやひきこもり経験者をゲストに，経験談や様々な生きづらさを抱えた人たちへのメッセージを，インターネットラジオを通して発信。
支援団体の活動紹介・相談コーナー	ひきこもり支援に関わっている団体の活動紹介コーナー。 会場での相談コーナーも設置。
ライブパフォーマンス	ひきこもり経験者によるライブパフォーマンス。 身体を楽器に見立て，全身を使って若者たちがリズムを刻む，「ボディパーカッション」の実演。初めてステージに立つ「チャレンジステージ」。K-boxによるミュージック&トークライブ。

オ 新潟県精神保健福祉協会新潟市支部 記念講演会

精神保健福祉に関する知識の普及啓発のため，講演会を開催する。

日時・会場	内容	対象・参加者
平成24年7月10日(火) 午後3時30分～午後5時 【会場：新潟大学駅南キャンパスときめいと】	演題「発達障がい～子どもから大人まで～」 講師 新潟大学医歯学総合病院 精神科 講師 遠藤 太郎 氏	【対象】 一般市民 【参加者】 98人

カ 新潟県精神保健福祉協会新潟市支部 市民講座・自殺予防ゲートキーパー養成研修会

精神保健福祉の普及啓発事業として，一般市民や当事者・家族・関係者が，ギャンブル依存症とパーソナリティ障害の概念や対応・支援について学ぶため，講演会を実施した。

日時・会場	内容	対象・参加者
平成24年11月4日(日) 午後2時～4時 【会場：新潟市民プラザ】	演題「ギャンブル依存を克服した人・できなかった人～100のカウンセリング事例からわかったこと～」 講師 新潟大学人文社会・教育科学系 教授 神村 栄一氏	【対象】 一般市民 【参加者】 153人
平成24年12月9日(日) 午前10時～正午 【会場：朱鷺メッセ】	演題「パーソナリティ障害と自殺未遂・自傷行為～自殺予防のために～」 講師 東京都立松沢病院 精神科部長 林 直樹 氏	【対象】 一般市民 【参加者】 204人

キ 新潟市自殺防止街頭キャンペーン

新潟市自殺対策推進月間において、市民から自殺対策への関心を高めてもらうため、自殺予防に関する相談窓口資料や啓発用グッズを直接市民に配布する、自殺防止街頭キャンペーンを実施した。

【実施場所：新潟駅前広場】

日 程	内 容	対象・参加者
平成 24 年 9 月 14 日 (金) 午前 8 時～	<ul style="list-style-type: none">・市民への呼びかけ・相談窓口の周知・啓発用グッズ (ペン類・自殺を防ぐための相談窓口情報マップ「あなたのミカタ」・新潟市こころといのちのホットラインチラシ等をセットにしたもの) の配布・幟旗の設置	<p>【対象】 一般市民</p> <p>【配布数】 700 セット</p>

(10) 精神保健福祉相談

ア 相談，訪問実績年次推移

来所相談		開催日	平成23年度			平成24年度		
			実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
専門相談	精神科医(所長)による 精神保健福祉相談	毎週木曜日	48	54	66	51	61	76
	精神科医による 高齢者精神保健福祉相談	第2火曜日 第4木曜日	24	11	13	23	24	24
	精神科医による 思春期青年期相談	偶数月の 第2木曜日	6	9	10	6	7	10
	酒害相談員による 酒害相談	第1・3月曜日	21	12	15	20	12	13
	臨床心理士による うつストレス相談	毎週土曜日	48	42	50	48	33	40
小計			147	128	154	148	137	163
精神保健福祉相談員による 精神保健福祉相談		月～金曜日		235	390		159	351
合計				363	544		296	514

電話相談	開催日	平成23年度			平成24年度		
		実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
精神保健福祉相談員による 精神保健福祉相談	月～金曜日		1,157	3,453		1,072	3,033

■平成24年度相談(来所+電話)延人数 3,547人

訪問相談	開催日	平成23年度			平成24年度		
		実施回数	実人数	延人数	実施回数	実人数	延人数
精神保健福祉相談員による 精神保健福祉相談	月～金曜日		12	47		9	24

イ 技術指導及び援助

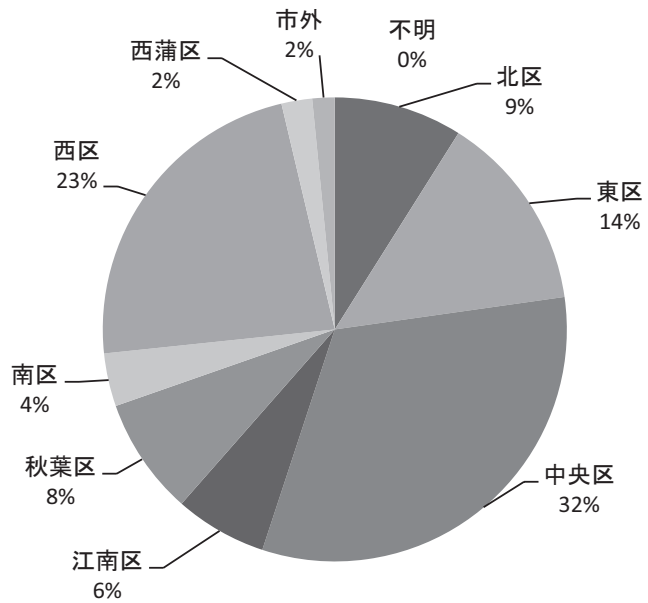
関係機関への専門的指導援助を行う。

援 助 方 法	内 容 及 び 件 数
<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースカンファレンス ・ 来所面談による技術的援助（助言） ・ 電話による技術的援助（助言） <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人 9 件 ・ 社会復帰 11 件 ・ アルコール 7 件 ・ 思春期 18 件 ・ ひきこもり 0 件 ・ 自殺関連 3 件 ・ 薬物関連 0 件 ・ 心の健康 0 件 ・ その他 62 件 <p style="text-align: right;">計 110 件</p>

ウ 来所相談

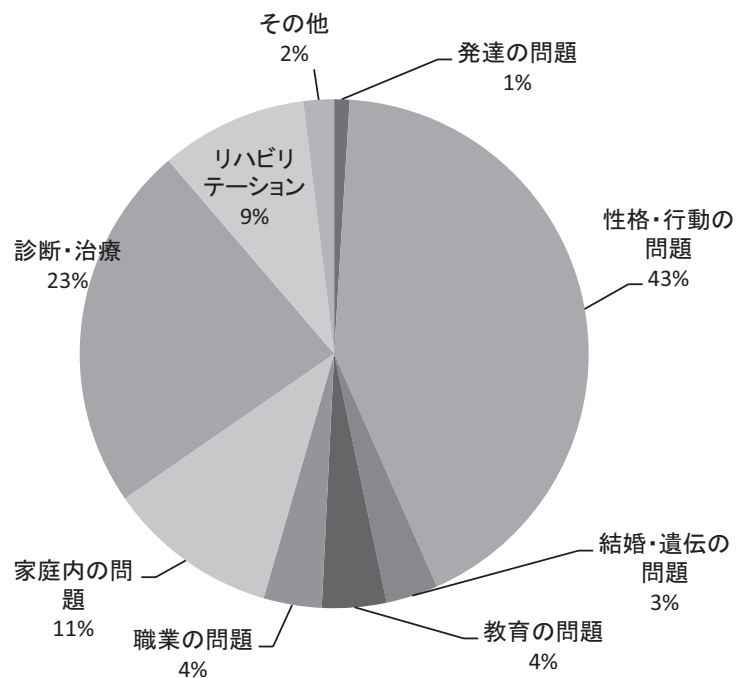
[地域別内訳]

地域別内訳	
区名	延人数
北区	46
東区	71
中央区	166
江南区	33
秋葉区	42
南区	19
西区	118
西蒲区	11
市外	8
不明	0
計	514

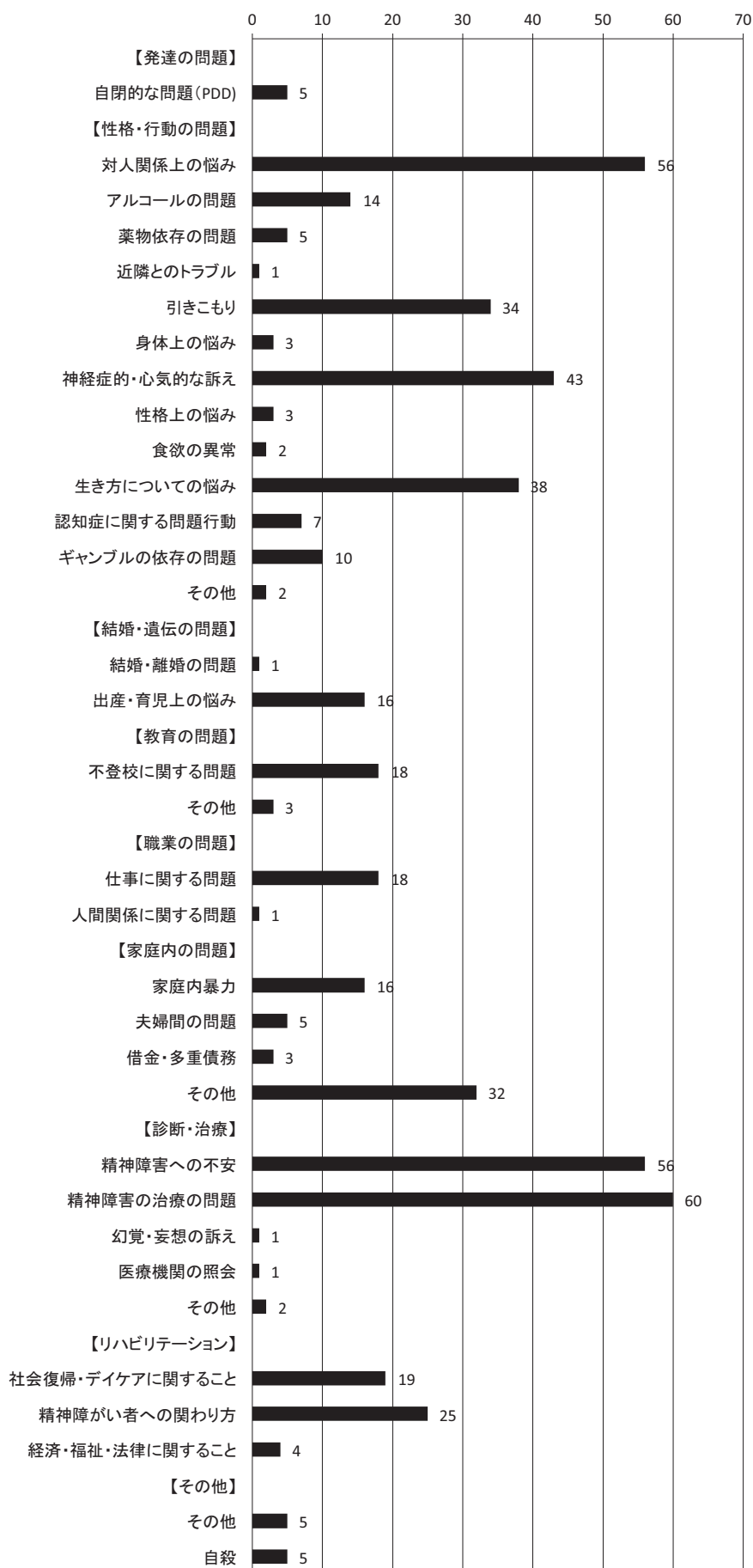


[主訴別内訳]

主訴内訳	
主訴	延人数
発達の問題	5
性格・行動の問題	218
結婚・遺伝の問題	17
教育の問題	21
職業の問題	19
家庭内の問題	56
診断・治療	120
リハビリテーション	48
その他	10
計	514



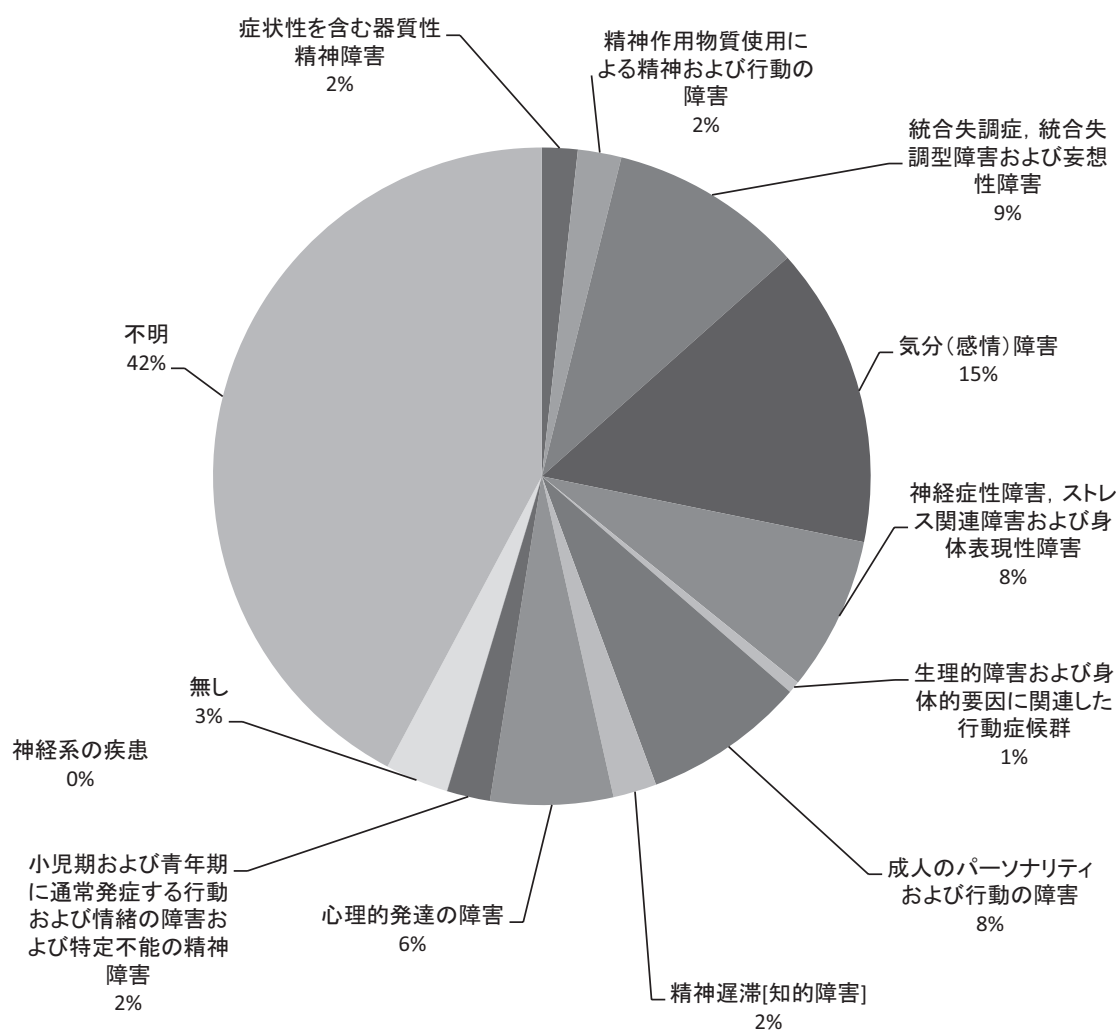
[主訴内訳件数]



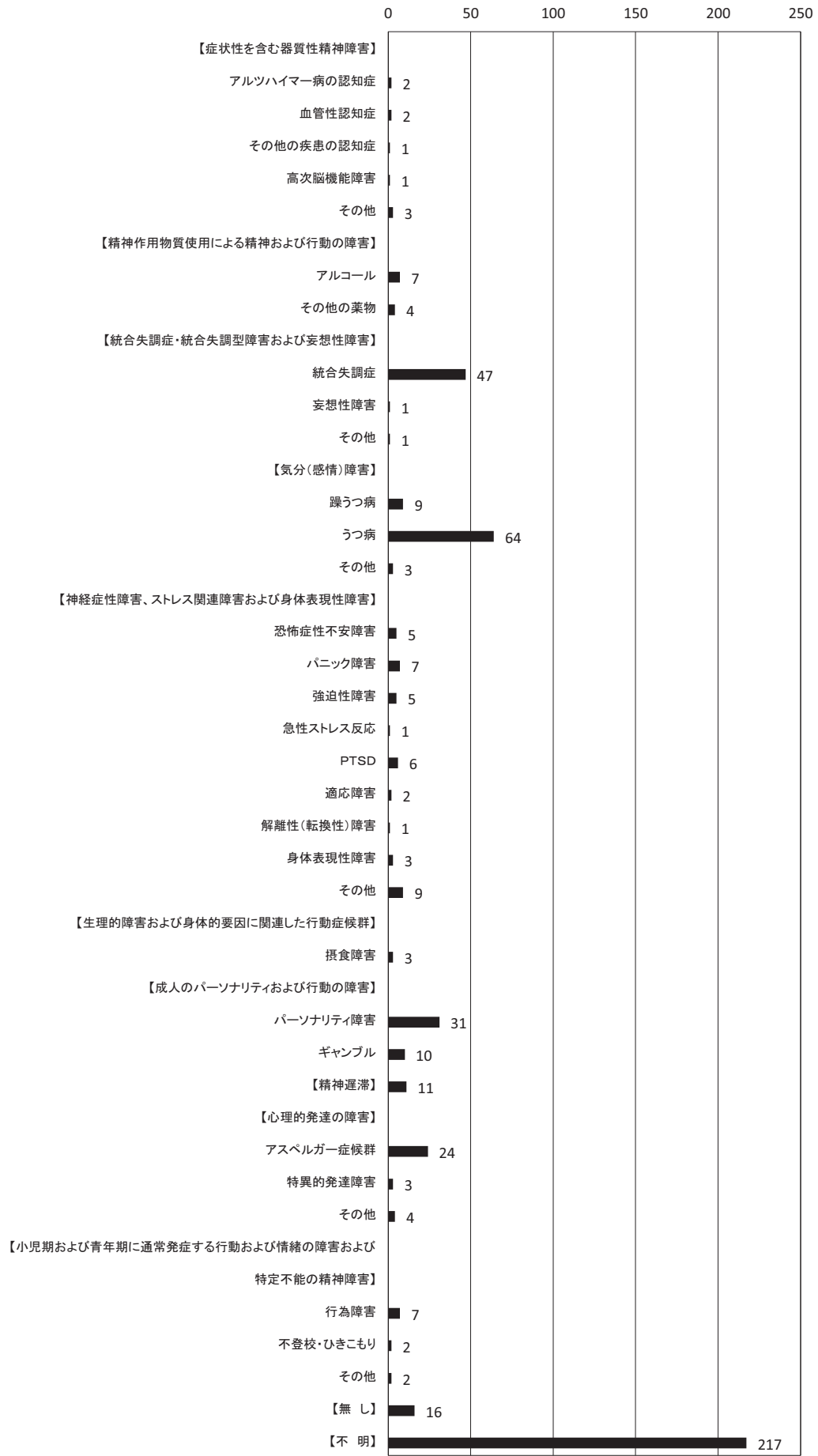
診 断 名 内 訳		
診 断 名	コード	延人数
症状性を含む器質性精神障害	F0	9
精神作用物質使用による精神および行動の障害	F1	11
統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害	F2	49
気分(感情)障害	F3	76
神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害	F4	39
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F5	3
成人のパーソナリティおよび行動の障害	F6	41
精神遅滞[知的障害]	F7	11
心理的発達の障害	F8	31
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	F9	11
神経系の疾患	G	0
無し	無し	16
不明	不明	217
計		514

※ ICD-10に基づくコード番号

[診断名別内訳]



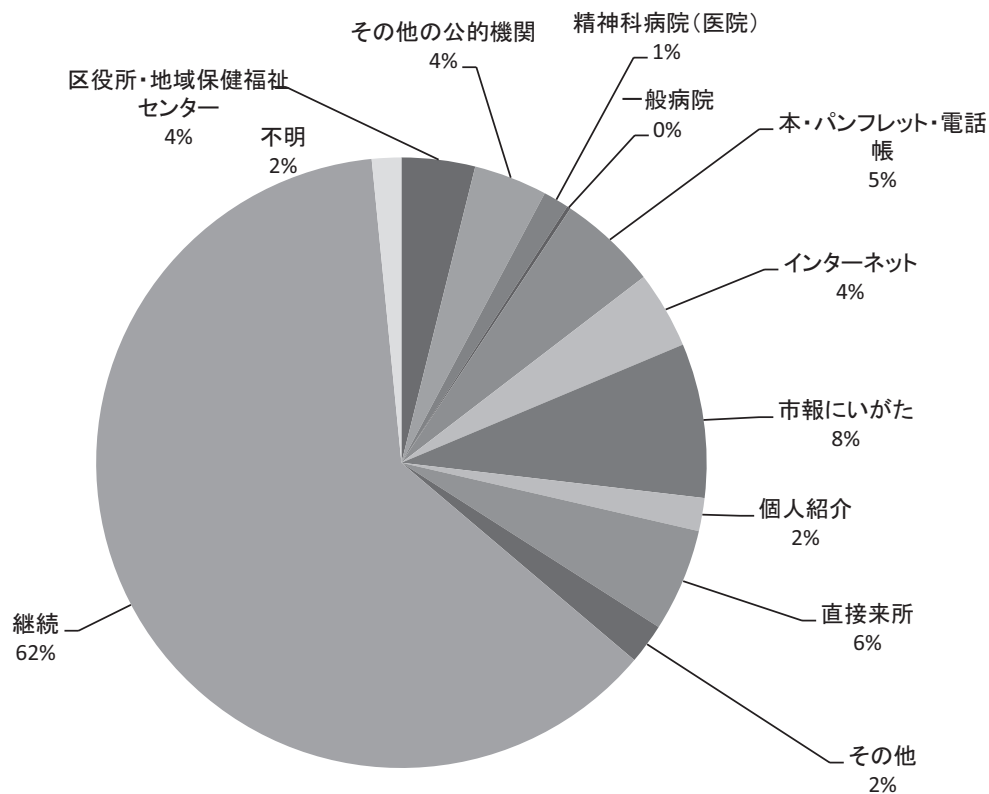
[診断名内訳件数]



相 談 経 路 内 訳	
機 関	延人数
区役所・地域保健福祉センター	20
教育関係	2
司法関係	1
警察関係	3
その他の公的機関	20
精神科病院（医院）	7
一般病院	1
施設	0
本・パンフレット・電話帳	27
インターネット	21
市報にいがた	42
個人紹介	9
直接来所	28
その他	5
継続	320
不明	8
計	514

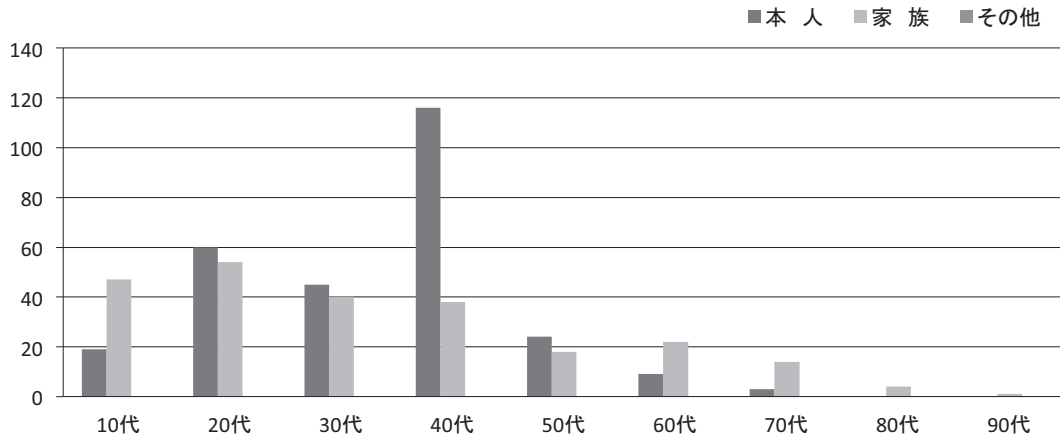
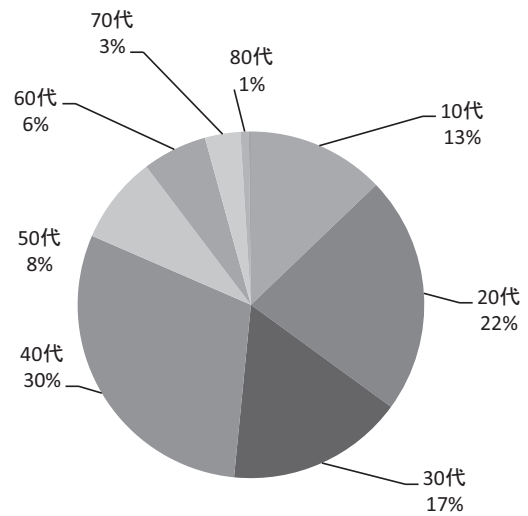
※24年度より「相談経路」内訳項目を変更。

[相談経路別内訳]



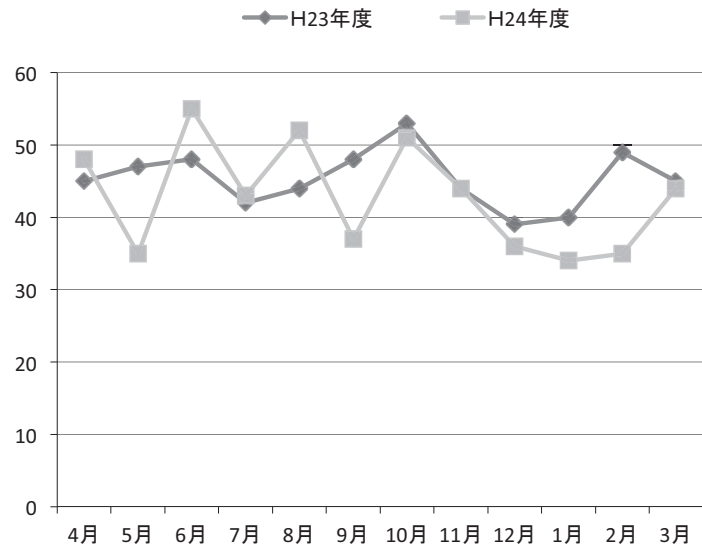
[相談者年代別内訳]

相 談 者 年 代 別 区 分				
年 代	本 人	家 族	そ の 他	計
0代	0	0	0	0
10代	19	47	0	66
20代	60	54	0	114
30代	45	40	0	85
40代	116	38	0	154
50代	24	18	0	42
60代	9	22	0	31
70代	3	14	0	17
80代	0	4	0	4
90代	0	1	0	1
合計	276	238	0	514



[月別相談人数]

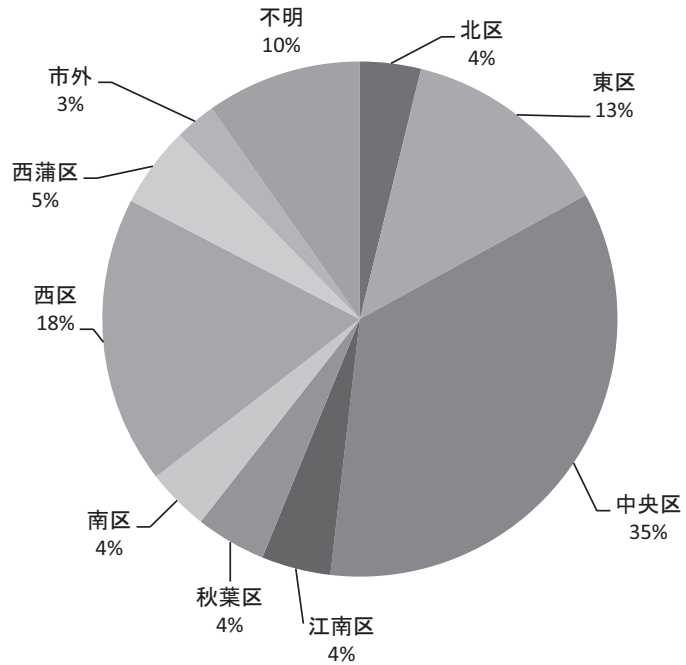
月	延人数	
	H23年度	H24年度
4月	45	48
5月	47	35
6月	48	55
7月	42	43
8月	44	52
9月	48	37
10月	53	51
11月	44	44
12月	39	36
1月	40	34
2月	49	35
3月	45	44
計	544	514



エ 電話相談

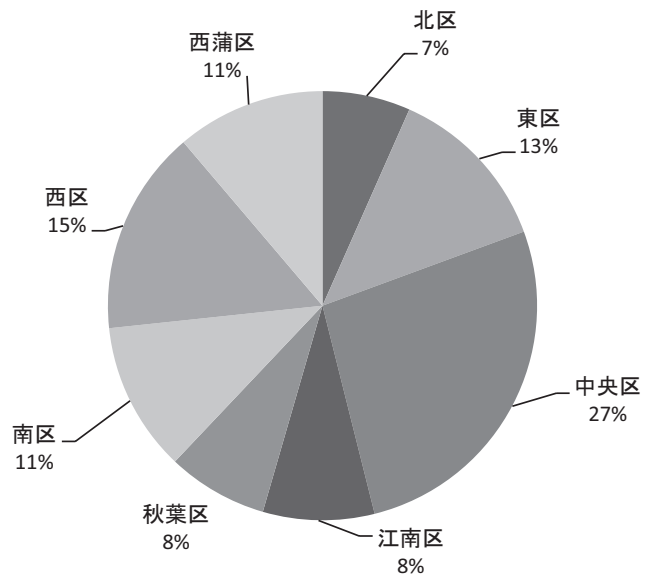
[地域別内訳]

地域別内訳	
区名	延人数
北区	116
東区	400
中央区	1056
江南区	132
秋葉区	134
南区	119
西区	548
西蒲区	154
市外	78
不明	296
計	3,033



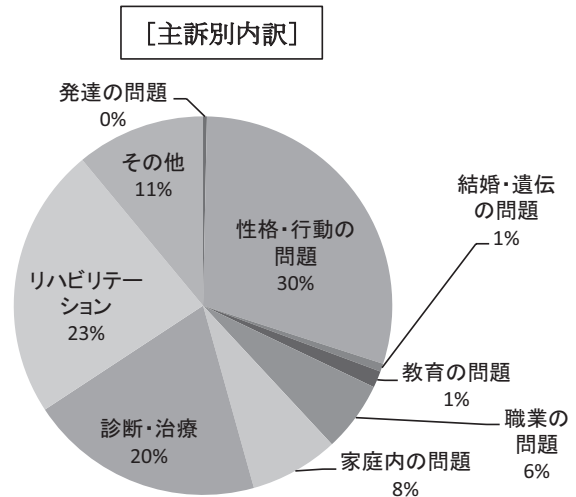
区別人口1万人当たり相談(延)件数			
区名	相談件数	人口	人口1万人当たり相談件数
北区	116	77,472	14.97
東区	400	139,008	28.78
中央区	1056	175,287	60.24
江南区	132	69,663	18.95
秋葉区	134	78,364	17.10
南区	119	46,838	25.41
西区	548	157,102	34.88
西蒲区	154	60,847	25.31
計	2,659	804,581	33.05
市外	78		
不明	296		

[区別人口1万人当たり相談(延)件数]

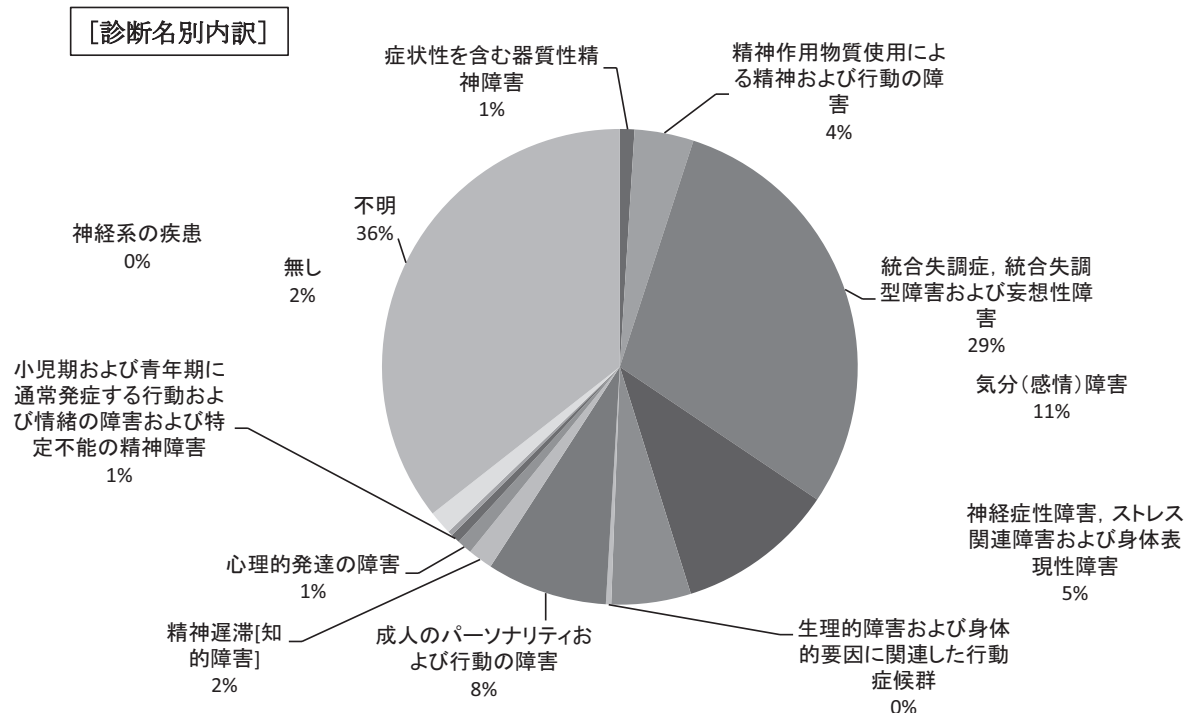


※人口は平成25年3月末現在

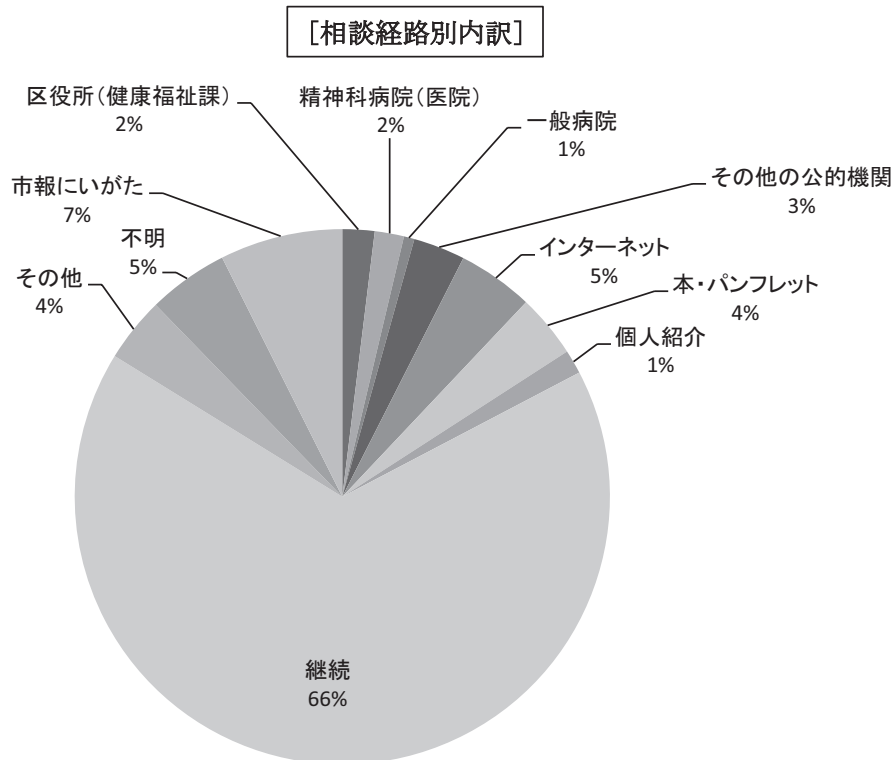
主 訴 内 訳	
主 訴	延人数
発達の問題	10
性格・行動の問題	899
結婚・遺伝の問題	21
教育の問題	43
職業の問題	182
家庭内の問題	230
診断・治療	609
リハビリテーション	705
その他	334
計	3,033



診 断 名 内 訳		
診 断 名	コード	延人数
症状性を含む器質性精神障害	F0	30
精神作用物質使用による精神および行動の障害	F1	122
統合失調症, 統合失調型障害および妄想性障害	F2	892
気分(感情)障害	F3	326
神経症性障害, ストレス関連障害および身体表現性障害	F4	164
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F5	11
成人のパーソナリティおよび行動の障害	F6	249
精神遅滞[知的障害]	F7	51
心理的発達の障害	F8	31
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	F9	19
神経系の疾患	G	10
無し	無し	49
不明	不明	1079
計		3,033

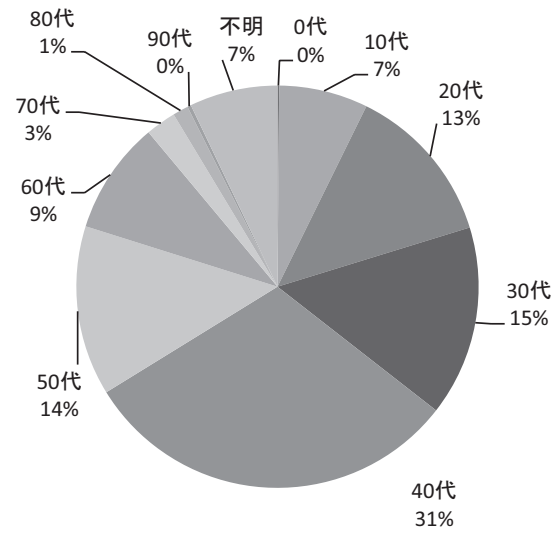


相 談 経 路 内 訳	
機 関	延人数
区役所・地域保健福祉センター	82
教育関係	9
司法関係	3
警察関係	14
その他の公的機関	103
精神科病院（医院）	78
一般病院	16
施設	12
本・パンフレット・電話帳	179
インターネット	163
市報にいがた	223
個人紹介	56
直接来所	31
その他	13
継続	1,961
不明	90
計	3,033

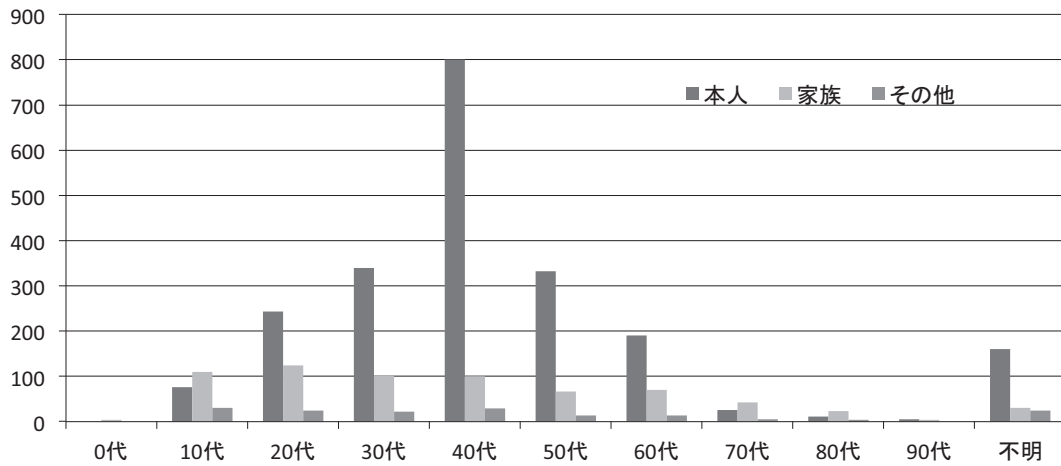


年代	本人	家族	その他	計
0代	0	4	0	4
10代	76	110	31	217
20代	243	125	25	393
30代	340	102	22	464
40代	801	100	29	930
50代	333	67	14	414
60代	191	70	14	275
70代	26	43	5	74
80代	11	23	4	38
90代	5	4	0	9
不明	160	31	24	215
計	2,186	679	168	3,033

[相談者年代別区分]



[相談者別区分]



[月別相談人数]

月	延人数	
	H23年度	H24年度
4月	300	272
5月	237	281
6月	430	292
7月	291	290
8月	373	298
9月	307	220
10月	258	254
11月	223	251
12月	255	185
1月	268	239
2月	256	234
3月	255	217
計	3,453	3,033

